

2 市民意識の現状（令和2（2020）年度伊丹市人権・男女共同参画に関する市民意識調査結果から）〈イメージ〉

基本方針の見直しに当たっての基礎資料とするため、人権に関する市民意識調査を実施しました。調査は令和2（2020）年10月13日～11月12日、無作為に抽出した市内在住の15歳以上の市民3,000人を対象に、郵送によるアンケート形式で実施したもので、有効回収数は1,384件で、回収率は46.1%でした。

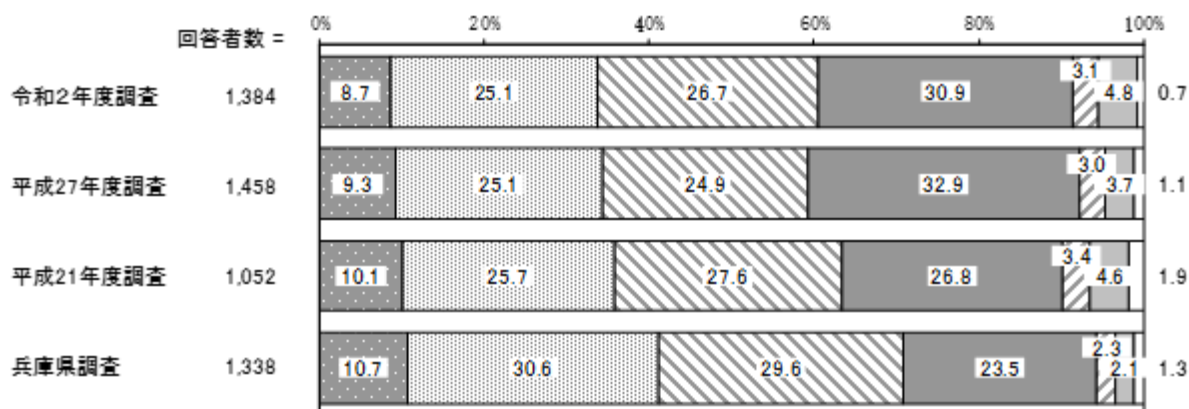
なお、詳しい調査結果及び分析結果については、『令和2（2020）年度伊丹市人権・男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書』にまとめられています。以下は抜粋したものです。

あなたは、「人権」を、どのくらい身近な問題として感じていますか。
（〇は1つ）

「非常に身近に感じる」と「かなり身近に感じる」を合わせた“身近に感じる”の割合が33.8%、「あまり身近に感じない」と「まったく身近に感じない」を合わせた“身近に感じない”の割合が34.0%となっています。

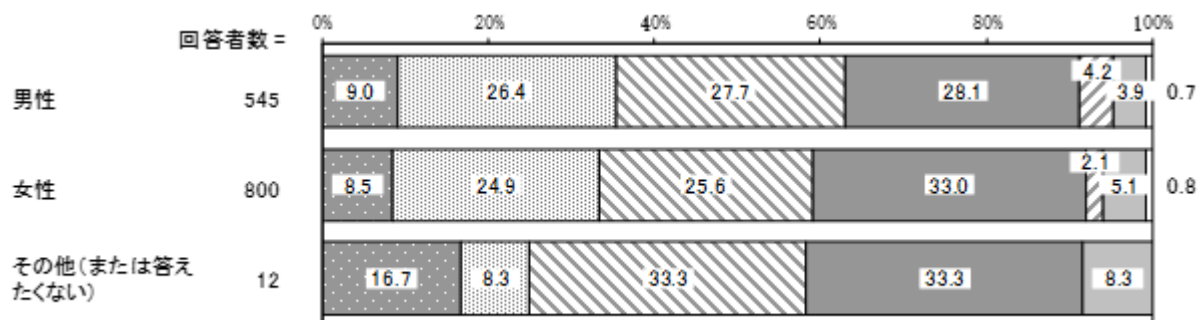
平成27年度調査、平成21年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。兵庫県調査と比較すると、「あまり身近に感じない」の割合が7.4ポイント高く、「かなり身近に感じる」の割合が5.5ポイント低くなっています。

■ 非常に身近に感じる ■ かなり身近に感じる ■ どちらとも言えない ■ あまり身近に感じない
■ まったく身近に感じない ■ わからない □ 無回答



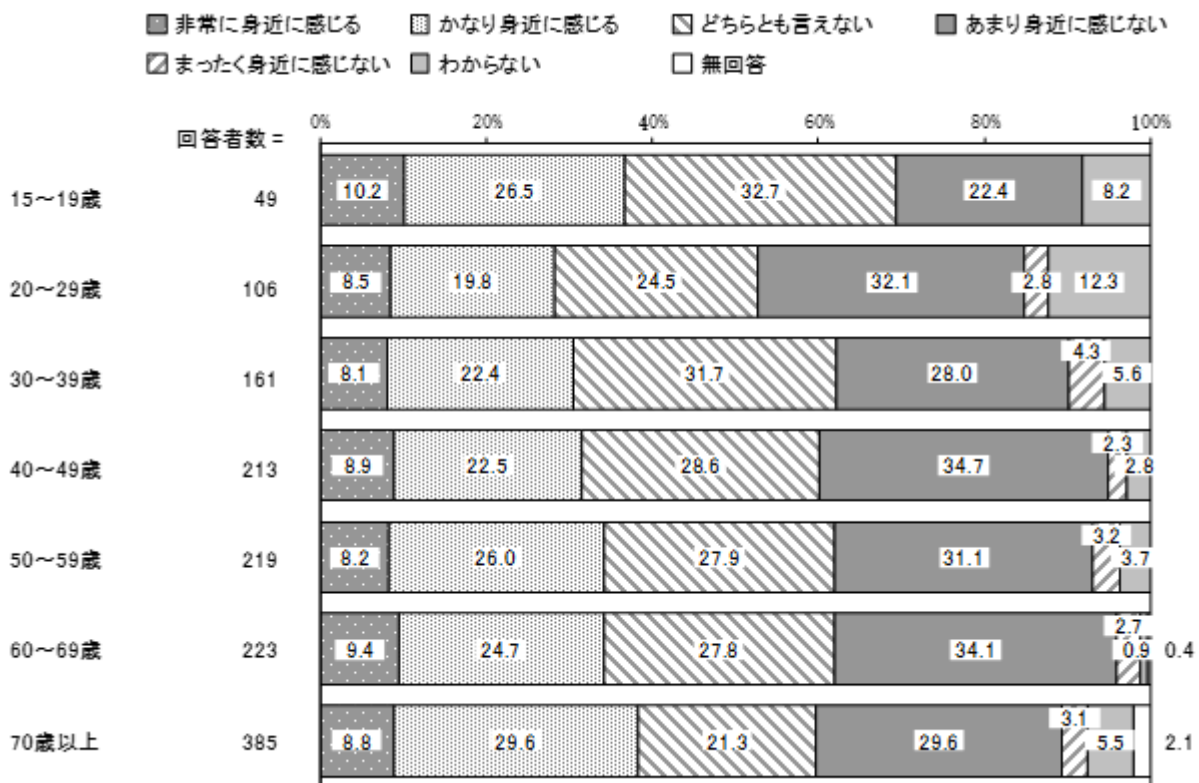
【性別】

性別で見ると、男女で大きな差異はみられません。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳以上で年齢が高くなるにつれ“身近に感じる”の割合が高くなる傾向がみられます。



日本の社会には、人権にかかわるさまざまな問題がありますが、あなたが特に関心をお持ちのものはどのようなことですか。(〇は5つまで)

「インターネットによる人権侵害の問題」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「障がいのある人に関する問題」の割合が 37.2%、「女性に関する問題」の割合が 34.2%となっています。

兵庫県調査と比較すると、「高齢者に関する問題」「障がいのある人に関する問題」「犯罪被害者などに関する問題」「東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生による人権問題」「働く人の権利に関する問題」の割合が低くなっています。

全国調査では、「障がいのある人に関する問題」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害の問題」の割合が 43.2%、「高齢者に関する問題」の割合が 36.7%となっています。

